令和元年度　三学期始業式辞

積雪もなく、大変に穏やかな年明けとなりました。今日、冬休みを終え、全校が揃い三学期始業式を迎えられることを、まずもって喜びたいと思います。

二〇二〇年、今年は東京オリンピックが七月二十四日から八月九日までの十七日間、開催されます。

知っての通り、能美市からは、競歩の鈴木雄介選手、女子ライフル射撃で平田しおり選手が、出場します。鈴木選手、平田選手が乗り越えてきたいくつもの困難、その間あきらめずに努力し続けた得た結果を思うとき、しっかりと応援したいと思います。

さて、二学期終業式に、中村哲さん、グレタ・トゥーンベリさんの行動から、事実にしっかりと向き合い、「本当に大切にしなければならないことは何なのか」を自分自身に問いかけること、そのためには、まず、「今をしっかりと捉えること」や「直面している事実から目をそむけないこと」そして、「自らの幸せを求めることは、同時に周りの人々の幸せも保障すること」であることを話しました。

そして、そのような視点で、振り返り、新たな年を迎える決意、目標を具体的に描くことを期待することを伝えました。

きっとそのような決意を持った年明け、そして今を迎えていることと思います。その気持ちを大切にして下さい。

三年生は進路決定に向け、一・二年生も進級を前にしたこの三学期が始まる今をしっかりと受け止め、失敗を恐れず、本当に実現したいならば、覚悟を決めて挑戦してください。具体的に動くことは大変で、上手くいかないこともあるでしょう。そのような厳しさやつらさがあることは当然であり、それだからこそ、やり遂げた価値や充実感があります。先に紹介した鈴木選手、平田選手のオリンピック出場は、私たちに目標に向かい努力することへの、大きな自信と勇気を与えてくれるものだと思います。是非とも、今までの自分の殻を破り、挑戦する姿を、それぞれの学年に期待する姿とし、三学期、始業式の式辞とします。